



平成 25 年市議選候補者公約を分析してみました

市民の会では、平成 25 年市議選候補者の公約について、28 人の候補者がどの分野に力点を置いて政策を訴えていたのかを調べてみました。

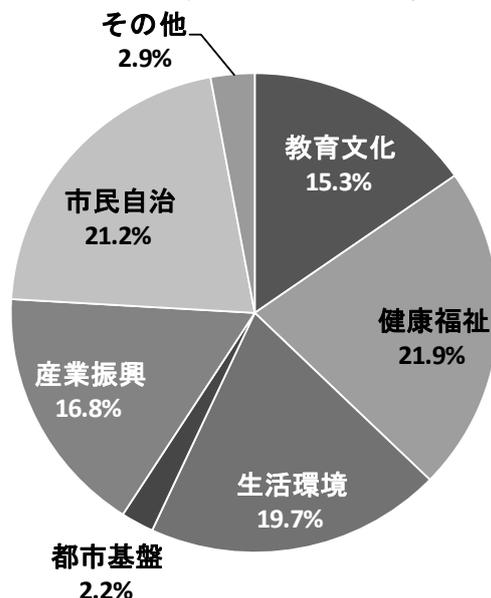
それは、今後の茂原市が向かう方向を読み取れることができるかもしれないと考えたからです。

候補者の掲げた選挙公約について、茂原市総合計画における 6 本の施策大綱（教育文化、健康福祉、生活環境、都市基盤、産業振興、市民自治）およびその他（議会改革等）に大別しました。

【考察】

- ・「健康福祉」が最も多く（21.9%）、「都市基盤」が最も少ない（2.2%）。
- ・圏央道も開通するなど、都市基盤の整備が一段落しており、少子高齢化・人口減少時代を背景に、健康福祉や市民自治などの分野にシフトしていることが伺える。

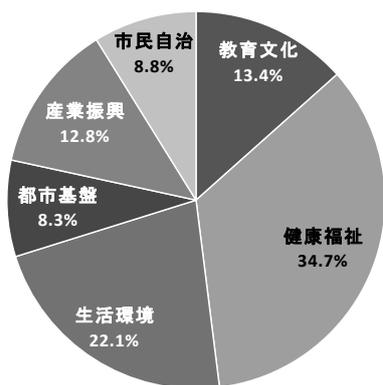
H25市議会議員選挙立候補者公約分析



住民の議員に求める思い・・・期待する姿＝信頼！！

平成 20 年に実施された市民アンケートでは、市にもっと力を注いで欲しいものとして、最も多いのが健康福祉（34.7%）で、次いで生活環境（22.1%）、教育文化（13.4%）でした。

市民アンケート調査（H20）



今回の候補者の公約では、「健康福祉」「市民自治」「生活環境」が上位を占めています。住民の思いを踏まえて、少子高齢化や人口減少問題、財政運営、防災減災などの環境整備に注力した政策を求めると同時に、「共生」と「共創」のまちづくりができる環境整備が期待されます。

未来の茂原市に期待し、当選した議員に対して今後求められることは、公約に対してどのように取り組んでいくのか、その過程を住民に公開し、説明する責任であると思います。

市民・議会・行政が連携してまちをつくる「協働のまちづくり」を目指すためには、仕組み（ルール）が必要です。

そして、その時代が目の前に迫ってきています。自治基本条例がその役割を果たすものと考えています。

ご意見をお寄せください！

茂原市の「自治基本条例」を考えるためには、市民の皆さんがどのようなまちのあり方を望んでいるか、その考えを取り込みながら、今後のまちづくりのためにはどのような基本原則を盛り込むべきなのかを考えていくことが必要です。ぜひ、皆さんのご意見をお寄せください。

茂原市自治基本条例を考える市民の会
事務局 茂原市役所企画政策課



ケータイからもお寄せいただけます

FAX 0475-20-1603

E-mail kikaku@city.mobara.chiba.jp